

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
安全・安心確保に資する等の社会貢献活動並びに公共事業全般に係る広報活動・調査研究の部
(安全確保・広報・調査研究の部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	国土交通省中部地方整備局愛知国道事務所
ふ り が な	けんせつこまちちーむあい いけんしゅうれびゅーはっこう ～すべてのひとがながくはらけるけんせつぎょうをめざして～
1. 取組(活動)の名称	けんせつ小町チーム“愛” 意見集レビュー発行 ～すべての人が長く働ける建設業をめざして～
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	平成 28年度 ～ 令和 7 年度
3. 事業費(調査費等)	－ 百万円
4. キーワード	けんせつ小町、担い手確保、職場環境改善、ワークライフバランス、官民協働

5. 公共事業全般に関する取組の分類(下記3つの③のうち、いずれかに○印)			
取組の分類 :該当に○印	③-1 安全・安心分野	○③-2 広報活動分野	③-3 調査研究分野
アピールする 1)「手段」	() () () ()	(b)行政と住民・企業・学識者等 との共働(パートナーシップ) () () () ()	() () () ()
アピールする 2)「秀でた 成果」	() () () ()	(a)公共事業全般に対する理 解・信頼の向上 () () () ()	() () () ()

6. 事業概要
建設会社・設計会社・行政で働く女性技術者を中心に、建設業関連の担い手確保の一環として「けんせつ小町・チーム“愛”」を結成し、建設関連業における職場環境の改善、魅力発信や学生への就職支援活動などに取り組んでいる。
7. 特にアピールしたい点
建設関連業の担い手確保の一環として、国土交通省愛知国道事務所の事業に携わる建設会社・設計会社・行政が一体となって「けんせつ小町・チーム“愛”」を結成。建設関連業の魅力発信や女性技術者の交流促進、働きやすい職場環境の整備を目的として、異なる職種間での意見交換会や、学生向けの入職支援活動、職場環境改善に向けて取り組んでいる。 また、結成当初の「女性技術者の働く環境改善」を主眼に置いた活動から、「～すべての人が長く働ける建設業をめざして～」をスローガンとして活動を継続し、令和元年度には「けんせつ小町・チーム“愛” 意見集」の作成、令和 7 年度には「意見集レビュー」を作成している。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



令和7年度 意見交換会



意見集レビューに作成に向けた意見交換



学生との意見交換会(入職支援活動)



建設技術フェアでの活動(入職支援活動)

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

1. はじめに

国土交通省中部地方整備局 愛知国道事務所では、建設業及び関連業(以下、建設業という)の担い手確保の一環として、女性技術者の活躍推進に取り組んでいる。建設業の魅力発信や女性技術者の交流促進、働きやすい職場環境の整備などを目的に、平成28年9月に「けんせつ小町・チーム“愛”」を結成した。

メンバーは、愛知国道事務所の事業に携わる建設会社、建設コンサルタント、行政機関などに勤務する女性技術者を中心に結成当初16名でスタートした活動は、令和7年7月現在、82名にまで拡大している。

令和元年度には、メンバーの声を集約した「けんせつ小町チーム“愛”「意見集」を作成し、令和6年度までの5年間の変化を振り返る「意見集レビュー」を令和7年度に発行した。

2. これまでの活動の歩み

1) 職場環境改善に向けた提案書の提出

結成初年度の平成28年には、現場視察や意見交換を通じて、職場環境の改善に向けた提案書を取りまとめ、以降の活動の基盤となった。(図-1)

チーム“愛”からの提案書概要

- ①全ての工事現場に「快適トイレを設置」
- ②監督職員待機所の「トイレ環境の改善」
- ③監督職員待機所に女性技術者が集まり
情報交換を行う「交流の場の創出」
- ④女性が働く場へ「休憩施設の設置」



図-1 結成当初の提案書

2)i-Construction 等の勉強会開催

平成 29 年度以降は、ICT 施工や BIM/CIM の活用をテーマにした勉強会を継続的に開催した。働き方改革の一環として、テクノロジーの導入による業務効率化や負担軽減を図るとともに、情報系学生の入職促進にもつながる取り組みとして注目されている。(写真-1)



写真-1 AR 技術を活用した可視化ツール体験

3)建設技術フェアでの入職支援活動

平成 30 年より、建設技術フェアの学生ひろばにチーム“愛”としてブースを出展している。学生との交流を通じて、建設業界への不安や疑問に対し、現場で活躍する女性技術者等が直接応える機会を設けている。

学生からは「結婚・出産後の復職」や「職場の雰囲気」など、リアルな質問が寄せられ、業種の垣根を越えた対応が好評を得ている。(写真-2)



写真-2 建設技術フェアの様子

4)大学との連携による意見交換会

令和 4 年度からは、愛知工業大学との連携を実施している。学生アンケートをもとに、チーム“愛”メンバーとの意見交換会を実施し、入職前後のギャップや働き方の実態について率直な対話を行っている。学生が抱く「残業が多い」「男性社会」といったイメージを払拭するための取り組みとして、継続的に交流を行っている。(写真-3)



写真-3 学生との意見交換会

5)けんせつ小町・チーム“愛”意見集の作成

令和元年度に、けんせつ小町・チーム“愛”「意見集」を取りまとめた。ハード面のみならず、コミュニケーションや意識面での改善、超過勤務縮減、休暇取得、技術力向上などについて、個人ではなく、チーム“愛”の意見として、所属先に女性技術者の意見を知ってもらうために、さらには建設業界の課題解決のための提案となるようとりまとめた。

2. けんせつ小町・チーム“愛”意見集レビューの作成

意見集の発信をととして、労働環境の改善について働きかけ始めてから5年が経過したが、その間には「テレワーク」の出現や、「男性育児休暇」の普及など社会にはめまぐるしい変化があった。そこで、この5年の間における労働環境の改善の有無や、実際に職場でどのような変化があったのかを確認するため、メンバーへのアンケートや意見交換会を通じて「意見集レビュー」として振り返り、好事例の共有や新たな課題に対する提案をしている。



意見集(R 元年発行)



意見集レビュー(R7 年発行)



3. おわりに

「けんせつ小町・チーム“愛”」の活動を通じて、建設業における働き方の課題は、女性技術者だけでなく、業界全体に共通するものであると実感している。結成当初のテーマ「女性技術者が働きやすい職場環境を目指して」は、令和元年度に「すべての人が長く働ける建設業を目指して」へと改められた。この言葉には、性別や年齢に関係なく、誰もが安心して働き続けられる業界をつくりたいという思いが込められている。

今後も、現場の声を大切にしながら、建設業に携わるすべての人が安心して働き続けられる環境づくりを目指し、意見交換と改善提案を継続していく。未来の技術者たちが希望を持って建設業を選択できるよう、魅力発信とイメージアップに努めていく。

【参考】

けんせつ小町・チーム“愛” 情報発信サイト

<https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/team-ai/>



けんせつ小町・チーム“愛” パンフレット

<https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/team-ai/document/pdf/pamphlet.pdf>

